

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立真田山幼稚園 学校協議会

令和 7 年 3 月 7 日 (金) 第 3 回学校協議会を行い、協議委員から下記の評価を受けた。

## 1 総括についての評価

保護者アンケートの結果がすべて高評価であり、園の教育内容についての保護者の満足度が高いことが分かる。実際に園での子どもの様子を見ていると、「運営に関する計画」に基づいて教育活動に取り組んできたことが、子ども一人一人また、集団として確実に育っていることが感じられる。また、教職員の情報共有や連携がとれていて、子ども、保護者への一人一人への細やかな対応、教育内容の充実が感じられる。

## 2. 年度目標ごとの評価

## &lt;年度目標：安全・安心な教育の推進&gt;

- ①令和 6 年度の保護者アンケートで「安心して幼稚園で生活し、自分の思いを出したり、相手の思いに気づいたりできるようになった」の項目で「そう思う」の回答を前年度以上にする。(昨年度 62%)
- ②令和 6 年度の保護者アンケートで「いろいろなことに自信をもって取り組むようになった」の項目で「そう思う」の回答を前年度以上にする。(昨年度 63%)

園内委員会を定期的に実施し、教職員間での情報共有がされている。そのことが、保護者も含め一人一人への細やかな働きかけとなり、安心して幼稚園生活を送ることにつながっている。また、教師同士の連携がしっかりととれていて、全教師が子どもみんなのことを知っているということが、安心につながっている。そのことも、保護者アンケートの高評価に大きく影響しているのではないか。

異年齢の交流を進めていくことで、年長児の年下の友達を優しく思いやる姿、年中少児の年長児へ憧れから活動が活発になる姿が見られ、自分の思いを出したり、相手の思いに気づくことに大きく影響している。

## &lt;年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上&gt;

- ①令和 6 年度の保護者アンケートで「主体的に活動する中で、友達と一緒に考え合いながら遊ぶことを楽しむようになった」の項目で「そう思う」の回答を前年度以上にする。(昨年度 64%)
- ②令和 6 年度の保護者アンケートで「自分の体を大切にし、楽しんで体を動かして遊ぶようになった」の項目で「そう思う」の回答を前年度以上にする。(昨年度 71%)

近隣の学校園、地域の人々などいろいろな人と出会い関わる機会が充実しており、人と関わることを楽しむ気持ちの育ちにつながっている。近くの就学前施設との横のつながりも、小中学校との縦のつながりも両方大切である。その関係を今後も深めていってほしい。

昨今子どもの運動機能の低下が問題になっている。園外の公園を利用したり、特に今年度は体力

向上に関する外部講師を招いて活動したり、子どもの体力向上に向けての取組が工夫されている。走る、投げる、跳ぶなど多様な動きが楽しめるように、来年度も外遊びを充実させてほしい。

＜年度目標：学びを支える教育環境の充実＞

- ①進んで研修や研究に取り組み、保育を学び合う教師集団を育成していく。
- ②令和6年度の保護者アンケートで「家庭や地域への教育内容を分かりやすく伝えている」の項目で「そう思う」の回答を前年度以上にする。(昨年度 74%)

ホームページやポートフォリオ、プレゼンテーションなど、様々な形で発信できている。特に幼稚園の教育的な取組をアピールするのに効果的なホームページは更新回数が昨年度よりも増えていることが評価できる。このことがアンケートでの高評価になっている。素晴らしい環境や教育内容があるので、来年度も外部への発信を工夫していってほしい。

### 3 今後の学校運営についての意見

年度目標で挙げている取組は、全て大切な取組であるため、今後も進めていってほしい。

それぞれの取組における次年度の改善点をもとに、さらに幼稚園の運営の取組をバージョンアップしていってほしい。